

わが家の資産形成 1

～家族6人と1匹どうやって毎月やりくりしているのか！？～

わが家の資産形成について、最近よく聞かれることが増えたため、大きなポイント2つを公開したいと思います。実はわが家の主要支出、第1位は2021年になってから教育費になりました。10年程前に自身のライフプランを作成した頃、教育費のピークは後5年後から10年程続くと考えていました。そのため、その時期までは貯めていける期間と認識していました。ところが、意外と早くやって来てしまいました。と言うのも、長男・次男とも中学受験をし、私立中学校に通うようになり、長男は県外で寮生活をしていることと、それに伴って下の妹2人も私立中学受験を考慮ようになったことが大きな要因です。私たち夫婦は高校まで地元の公立学校に通い、大学から県外に進学したため、自分たちの子どもも同じような進路かなあ～、と能天気にかけていました。慌てて準備を急いだのは数年前からです。と言うことで、皆さんには余裕を持った準備をしていただくように、以下のポイント2つを参考にいただければ幸いです。なお、この方法は教育資金に関わらず、老後資金（長生きリスク）の準備にもと

っても有効ですので、ご自身のライフプランに合わせてご活用ください。

1 つ目は、『口座振替』を利用すること。20 世紀最大の天才と言え、私のコラムによく出てくるアインシュタインですが、今回は 17 世紀～18 世紀にかけて活躍した天才科学者、リンゴが木から落ちる自然現象から万有引力を発見したというアイザック・ニュートンの逸話をご紹介しますと思います。結論を先に記すと、自身の感情をコントロール出来ずに現在の価値に換算すると、4 億円以上もの損をしてしまいました。人類史上最大の天才と言われるニュートンでさえ「私は天体の動きは計算できるが、人々の狂った行動の計算はできない。」と言わしめたほどのショックを受けたそうです。(余談ですが、ニュートンは微分積分の理論の体系化に成功し、将来を予測することを可能にしました。その結果皆さんもご存じのハレー彗星 = エドモンド・ハレーが微積分を駆使して発見 = の地球最接近を正確に予測することに繋がったほどの<計算>能力があるにも関わらず、相場は全く予測することが出来ませんでした。ちなみに、ハレー彗星は前回 1986 年 2 月 9 日 (山田少年は保育園年長) に地球に回帰し、次回は 2061 年 7 月 28 日と計算されている。) つまり、私のような凡人にはなおさら将来の相場を予測することは出来ないということです。

しかし、ここで重要なのは直接的には株式相場の将来を予測出来なかったことですが、実際の原因は、ニュートンが自身の感情をコントロール出来なかったことなのです。現在よく使われる『バブル』の語源にもなった実話ですので、少し概要を記しておきます。

= 1720年にイギリス政府が売り出した額面100ポンドの「南海会社」の株式が爆発的な人気を集め、短期間で1000ポンドを突破する暴騰を見せました。この動きに乗じようと、実態のない会社の株式が次々に売り出されました。「泡沫会社 (Bubble company)」と呼ばれたこれらの会社の株価も同様に急上昇し、株式市場は狂乱状態になりました。ここで危機感を強めた南海会社が訴訟を起こし、イギリス政府も規制に乗り出したことで、泡沫会社の株価は暴落します。ところが、予想外にも南海会社の株価もその煽りを受けて1000ポンドから一気に120ポンド台まで暴落してしまいました。 =

そこでニュートンに話を戻すと、彼は早い段階で南海会社の株式を購入していたため、株価が暴騰する過程で売却を行い、ある程度の利益をあげました。当初は冷静に株式市場を観察していたニュートンですら、上昇し続ける株価を見て「利食いが早かったか・・・」と悔しい思いを募らせていた。やがて「まだ上がる！」と思い込み、買い直しを行う。ところが、

その辺りが株価の天井だった。結果は既に記した通り。「利小損大」、利益を上げる時は小さく、損失を出すときは大きくなってしまいう傾向をこう呼ぶそうです。損切が難しい理由等、詳しく知りたい方はノーベル経済学賞『プロスペクト理論 = ダニエル・カーネマン』で検索されてみてください（超余談、カーネマンって名前がまた何とも言えないですよ！）。

と 言うことで、感情をコントロール出来ないとどうなってしまうかよく分かっていただけたと思います。これは資産形成に限らず、感情のコントロール = 理性が人生においてどれ程大切かの良い教訓にもなると思います。日々感情に振り回されている未熟な自分を戒めるためにも書き残しておきます。そんな感情を一切排除してしまうのが、冒頭で記した 1 つ目のポイント『口座振替』です。実際私は、毎年の年払い、毎月の月払いの積み立てと、毎週決まった曜日に積み立てを行う週払いも実践しています。相場がどうかとか、今月はちょっと収入が少ないとか、まとまった支出があるからとか、何となく気が乗らないとか（具多的にはまだまだあります。例えば、2021 年 9 月現在・自民党の総裁選がどうなるか？またコロナが流行したらどうしようか？とか、少し前だとトランプ大統領だからなんか不安なんだ？とか、あげればキリがありません。）そんな感情や状況は一

切関係なくシステムティックに毎回引き落されて行き、結果きちんと資産形成が出来ています。言われてみれば当たり前なんですけど、この仕組みを量はもちろん、多岐に亘って構築し、さらに預け先の質が問題になります。その点は実際に私がやっている仕組みを包み隠さずお伝えいたしますので、気軽に聞いてください。資産形成においては、人類史上最大の天才であろうと、決してニュートンを参考にしないでくださいね！

そこそこの分量になってきましたので、2つ目のポイントは次号に同封いたします。ちなみに、わが家はこの1つ目のポイントについては既に半分卒業しています。と言うのも、始めに書いたように、思ってもなく早く教育費の第1のピークが来てしまったからであり、早く来たら早く終わるという訳では無さそうで、今から15年くらいは続きそうなので、この期間をやりくりする方法として2つ目のポイントを有効に使っています。さわりだけお伝えしておきます。2つ目のポイントは『お金は貯めない』です。今まで書いてきた内容と逆行するようですが、実践を交えて解説していきますので、楽しみにしてください。ではまた来月！！

SL:2710-3220-5290

ソニー生命保険(株) 大分支社

〒 870-0029 大分市高砂町 2-50

オアシスひろば 21 9階

TEL 097-532-9200

ライフプランナー 山田新悟